

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	男女共同参画講演会の開催事業							
1-2 担当	部	市民部	課 又は施設	市民協働課	係	市民活動推進係	評価票作成者	男女共同参画担当係長 樋口 進
1-3 総合計画における施策の体系	節	交流と市民参加 「市民と行政が尊重しあう協働のまちづくり」			基本施策	男女共同参画	コード	5 1 4
	項	参加と協働			単位施策(中)	意識啓発	コード	5 1 4 1
					単位施策(小)	市民講座等の開催	コード	5 1 4 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市内在住者・参加希望者		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	映画祭・講演会等に参加をしてもらうことにより、男女共同参画の周知理解を促し、意識啓発を図る。			
1-5 事務事業の内容	あいち国際女性映画祭・男女共同参画講演会等の開催							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	映画祭実施にあたり、広報・新聞折込チラシ・看板・ポスター等広くPRし、観客動員数増加を図った。	あいち国際女性映画祭は今年度11年目を迎え、メディアにも度々取り上げられることから、県下で定着しつつある事業である。	前年度に引き続き映画祭の動員数は大変多く、また、「豊明市での開催だから参加をすることができた」という市民アンケートの意見からも、市民のニーズは高い。		
	平成19年度	映画祭の上映作品決定に懇話会委員の意見を取り組み努力をし、映画祭定着のために看板やポスターによるPRを充実させて観客動員数増加を図った。	あいち国際女性映画祭は、国内の映画祭でも認知されてきた事業である。この映画祭の共催は、豊明市の認知度を高めるためにも有効な手段である。	映画祭でのアンケートにおいても、豊明市で継続して開催を望む声は多い。映画を娯楽という視点だけでなく、ゲストとして女性監督や女優が来場してコメントする機会を得ることで男女共同参画や文化意識の向上につながっている。		
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	男女共同参画講演会への参加者数		800(人)	800(人)	男女共同参画講演会は、当面「あいち国際女性映画祭」の豊明会場誘致となる。会場を文化会館大ホールと想定したため、入場定員の800人を指標とした。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(人) 直接事業費 b(千円) 人件費 c(千円) 合計コストd (b+c) (千円) 単位コスト d/a (千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		711	544									
		944	901									
		1,210	1,210									
		2,154	2,111									
		人当たり 3	人当たり 4	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実績は、成果指標と同じ入場者数とする。平成19年度は、直接経費1,301千円から入場料402千円を差し引いたものとした。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	711(人)	544(人)								
	後期目標値に対する達成度(%)	88.9(%)	68.0(%)								

3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		B	B								

- 4段階評価結果
- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------------------|
| A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する | 判断の基準 | 必要性(必要な事務事業であるか) |
| B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要 | | 公共性(公が実施する意味があるか) |
| C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要 | | 妥当性(ニーズに対して投入が適正か) |
| D : 事務事業の廃止が相当 | | 効率性(結果に至る活動に無駄はないか) |
| | | 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか) |
| | | 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか) |

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識			次年度に向けて改善する取組み			事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価																																							
	平成18年度	予算や業務運営等の課題を今後検討しつつ、映画という手法で映画祭ではない事業も視野に入れていきたい。	映画祭で来場するゲスト接待を、映画上映中から午前中に変更し、案内場所・接待時間等の充実化・効率化を図る。	映画祭の集客力は大変高く、男女共同参画を広く啓発することができた。男性の参加や若年層の参加を促進できるよう努力していきたい。	平成19年度	映画祭の認知度は高いため、委託先(財)のあいち男女共同参画財団と協議を重ねて、豊明市での定着(継続)事業として検討した。	あいち国際女性映画祭は中止。映画祭から他の手法に変更し、集客力のある事業(講演会及び音楽祭)を検討・実施する。	映画祭の男女共同参画事業としての集客力は高く、効果的に男女共同参画についての啓発・PRやアンケート調査などを行うことができた。また、他の映画祭共催市との情報交流ができたことの意義は大きい。	平成20年度				平成21年度					平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度					平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
4-1 総合評価の結果	平成18年度	B	目的達成のため、多様な手段も検討しながら開催すること。
	平成19年度	B	これまで認知と成果を得る取組みができた。今後は多様な手段を検討し、更に効果を発揮されたい。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
平成27年度			